

名前	鄭新爽 (Zheng Xin-Shuang)	学年	D3
研究分野	意味研究、認知言語学		
キーワード	時間の概念化 事態把握様式 時間認識		
代表的業績	<p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「時間の概念化に関する日中対照研究—「先」の用法を例に一」 『日本認知言語学会論文集15巻』 (2015) 2. 「中国語話者の時間認識に見られるメタファーについて」 『日本認知言語学会論文集17巻』 (2017) 3. 「中国語の時間認識について—「左」「右」を伴った新たな時間表現を中心に一」 『日本言語学会論文集155回』 (2017) 4. 「中国語の時間表現に見られる順序認識—“上下”の時間表現を中心に一」 『認知言語学研究第4巻』 (2019) <p>【口頭発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「「先」に関する認知言語学的研究」 第五回中日韓日本言語文化研究国際フォーラム, 2013年9月21日, 於中国大連大学. 2. 「時間の概念化に関する日中対照研究—「先」の用法を例に一」 第15回日本認知言語学会, 2014年9月21日, 於慶應義塾大学. 3. 「中国語話者の時間認識に見られるメタファーについて」 第17回日本認知言語学会, 2016年9月11日, 於明治大学 4. 「中国語の時間認識について—「左」「右」を伴った新たな時間表現を中心に一」 第155回日本言語学会, 2017年11月25日, 於立命館大学 <p>【奨学金・助成金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公益財団法人 藤井国際奨学財団 (2014年度) 2. 中国国家建設高水平学生CSC奨学金 (2015~2018年度) 		
メッセージ	<p>今の研究は主に中国語の空間方位詞の「前/後/左/右/上/下」等の表現付きの時間表現の背後の中国語話者の時間認識/認識プロセスを研究している。言い換えると、空間方位詞付きの時間詞を出発点として、その背後にある人間の時間認識のあり方(人間はどのように時間を認識するのか)について検討する。本研究ではそれらの方位詞付きの時間詞を3つのパターン(「前後」付きの「前後」のパターン, 「左右」付きの「左右」パターン, 「上下」付きの「上下」パターン)に分けられ、結果として、「前後」のパターンの表現には時間メタファーが機能し、「左右」のパターンの表現は文化に起因するところがあり、「上下」パターンには順序メタファーが働くという結論を提案することになることが見込まれている。</p>		
更新日	2019年7月24日		